

# 砂利下向け 施工方法

推奨製品：ザバーン®防草シート 240G 136G  
プランテックス®防草シート 240BB 125BB

## ① 施工前準備



雑草はできるだけ除去し、ある程度整地する。



縁石部分は砂利の厚さ分 50mm 下げる。

## ② シート敷設



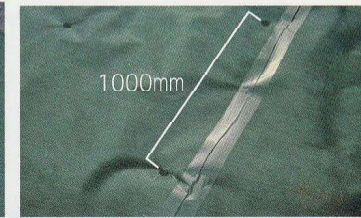
ヨレや隙間がないように端から敷く。



重ね10cm



ピン止め



ピン間隔 1000mm

## ③ シート端部処理

### 障害物等



できるだけ障害物の下にシートを敷き、シートのカットは最小限にする。

### 樹木等



切り込みは最小限とし、余った部分は砂利からはみ出ないようにカットする。

### シート立上げ



20 ~ 30mm

### 排水柵等



上にシートを被せ、縁に沿ってカッターで切り抜く。

## 砂利の選定

### ◎ 好適な砂利



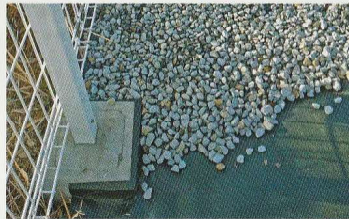
大きさが均一

### × 不適な砂利



土、パウダー、種子が混入しているため雑草が生えやすい

## ④ 砂利敷き



厚さ 50 mm 程度で均一に敷く。



シートは砂利で完全に隠す。

## ⑤ 完成



- すべての雑草に対し、完全なる効果を持つものではありません。
- 雑草の種類や施工方法によっては、シートの端部、重ね部、キズ穴部などから発芽する場合があります。
- 鳥の糞に含まれていたり飛来したりした種子によって、砂利から雑草が生えることがありますが、シートによって土中に根が張れないため、抜き取りは容易です。
- 場合により、シート重ね部や立上げ部をボンドで接着するとより効果的です。



### 取扱注意事項

- 本製品は長期間、直射日光のあたる場所に放置しないで下さい。直射日光にさらされ続けると劣化の原因になることがあります。
- 本製品は、火及び高熱によって溶けたり燃えたりすることがありますので、火や高熱物を近づけないで下さい。

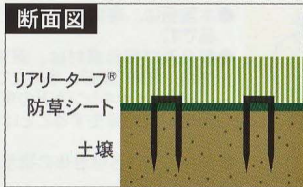


### 環境良品

- 本製品は、環境に配慮した製品です。
- 製品及び梱包資材は、保管、使用、廃棄（焼却、埋め立て）の際にダイオキシンなどの環境影響物質が発生することはありません。
- 廃棄方法は各自治体の指示に従って下さい。

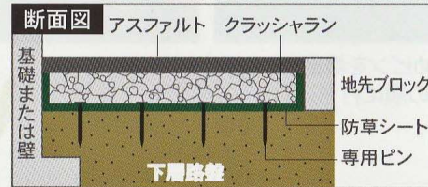
## その他の施工

### リアリーターフ®人工芝下



防草シートに専用ピンを1mピッチ(1~2本/m<sup>2</sup>)で打ち、リアリーターフ®を仮固定後、専用ピン10本/m<sup>2</sup>間隔で本固定する。

### アスファルト下



防草シートに専用ピンを1mピッチ(1~2本/m<sup>2</sup>)で打ち、クラッシュランを50~150mm程度敷いた上にアスファルトを施工する。

詳しくは「ザバーン®防草シート 技術資料」をご確認ください。

ザバーン®、プランテックス®は米国デュポン社の商標および登録商標です。

G&F GreenField 株式会社 グリーンフィールド

0120-222-178 FAX 0120-522-178  
www.gfield.co.jp sales@gfield.co.jp



# 曝露向け 施工方法

## ① 施工前準備



雑草はできるだけ除去し、ある程度整地する。

## ② シート敷設



ヨレや隙間がないように端から敷く。



重ね10cm

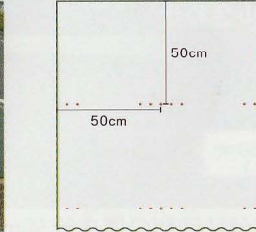


仮固定

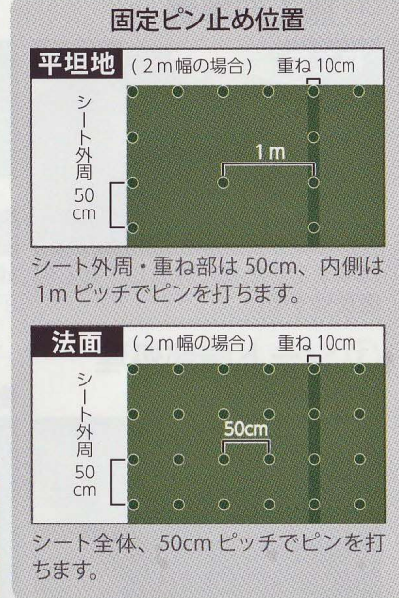


スミ付け

## ザバーン®350G ドット印刷



350Gには、ピン打ち箇所・シート重ね位置・カットライン・植栽位置の目安として、あらかじめ縦横50cmピッチのドットが印刷されています。



- すべての雑草に対し、完全なる効果を持つものではありません。
- 雑草の種類や施工方法によっては、シートの端部、重ね部、キズ穴部などから発芽する場合があります。
- 小さな雑草の場合、施工前の除草は不要です。
- シートは空気を通しますので、樹木の周囲に開口部を作る必要はありません。
- 状況に応じてピンの種類・本数を変えて下さい。
- シート上に除草剤や殺虫剤を散布しないで下さい。シートの耐久性が半減する恐れがあります。

## ③ ピン止め

ガンコピン® + 防草パッチ®



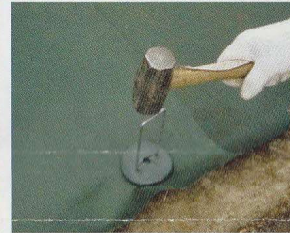
インパクトレンチ(ソケット17mm使用)でピンをシートに直接ねじ込み、上から防草パッチ®を貼る。

防草パッチ® + 止めピン



コ型止めピン/L型止めピンをシートに直接ハンマーで打ち込み、上から防草パッチ®を貼る。

防草ワッシャー® + 止めピン



防草ワッシャー®にコ型止めピン/L型止めピンをセットし、直接ハンマーで打ち込む。

## ④ シート端部処理

障害物等



できるだけ障害物の下にシートを敷き、シートのカットは最小限にする。

樹木等



切り込みを入れ、余った部分は内側へ折り返す。

排水柵等



上にシートを被せ、縁に沿ってカッターで切り抜く。

## ⑤ シート接続

コンクリート面・シート同士の接続面

専用ボンド



接着面の汚れを除去し、先端を口径約8mmにカットしたボンドをシート下に差し込んで注入する。シートとボンドを馴染ませ、養生する。

接続テープ



接着面の汚れを除去し、シートにヨレやシワが起らないように押さえながら接続テープを貼り、圧着する。

コンクリート面

コンクリート用ビスセット



ハンマードリルで下穴を開け、インパクトドライバーで固定する。

フラットバー+ハードエッジアンカー



ハンマードリルで下穴を開け、端部からインパクトドライバーでアンカーを打ち込む。連結部・中間部の順に固定する。

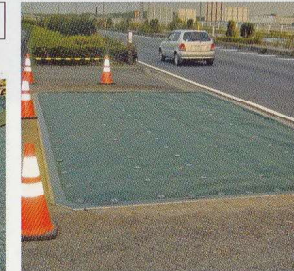
土壌面

フラットバー+L型止めピン



L型止めピンを端部・連結部・中間部の順に打ち込む。

## ⑥ 完成



### 取扱注意事項

- 本製品は長期間、直射日光のあたる場所に放置しないで下さい。直射日光にさらされ続けると劣化の原因になることがあります。
- 本製品は、火及び高熱によって溶けたり燃えたりすることがありますので、火や高熱物を近づけないで下さい。



- 本製品は、環境に配慮した製品です。
- 製品及び梱包資材は、保管、使用、廃棄(焼却、埋め立て)の際にダイオキシンなどの環境影響物質が発生することはありません。
- 廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。